

(令和5年12月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	12月の総入荷量は、多くの品目において夏季の高温等による生育不良や遅れの影響を受け、前年同月比で7%下回った。総取扱金額は、品薄感の前月までほど強くないが相場は堅調に推移したため、前年同月並みであった。今後は、暖冬傾向により生育は順調に進むと見られ、入荷量及び単価は平年並みとなることが予想される。 1月は、近郷野菜では、はたけ菜や菜の花の入荷が増加する。果実では、かんきつ類は温州みかんから伊予かんや不知火等の中晩柑類に切り替わり、いちご類は前月に続き増加傾向となる。
野 菜	野菜全般の入荷量は前年同月比で7%下回り、単価は6%上回った。 根菜類の入荷量は前年同月比で15%下回り、単価は10%上回った。 葉菜類の入荷量は前年同月比で4%下回り、単価は4%上回った。 果菜類の入荷量及び単価はともに前年同月並みであった。 土物類の入荷量は前年同月並みであったが、単価はたまねぎの高値推移の影響により16%上回った。
果 実	果実全般の入荷量は前年同月比で9%下回り、単価は13%上回った。 かんきつ類の入荷量は前年同月比で5%下回り、単価は14%上回った。 りんご類の入荷量は前年同月比で21%下回り、単価は20%上回った。 柿類の入荷量は前年同月比で30%下回り、単価は26%上回った。 いちご類の入荷量は前年同月比で8%下回り、単価は12%上回った。 メロン類の入荷量は前年同月比で30%下回り、単価は11%上回った。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長だいこん	長崎、和歌山、鹿児島、徳島、千葉などから入荷した。入荷量は前年同月比で１９％下回り、単価は２７％上回った。
かぶ	京都を中心に滋賀からも入荷した。入荷量は気温高の影響等による生育不良のため前年同月比で１３％下回ったが、単価は需要が低かったため１３％下回った。
西洋にんじん	長崎、愛知、鹿児島、熊本、鳥取などから入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は９％上回った。
【葉菜類】 はくさい	茨城、兵庫、鹿児島、和歌山、滋賀などから入荷した。入荷量は前年同月比で１１％下回り、単価は６％上回った。
キャベツ	愛知を中心に滋賀、茨城、兵庫、大阪などからも入荷した。入荷量は順調な生育により前年同月比で１５％上回ったが、単価は需要が高かったため１２％上回った。
ほうれんそう	福岡、京都、茨城を中心に滋賀、鳥取などからも入荷した。入荷量及び単価はともに前年同月並みであった。
レタス	兵庫、長崎、徳島を中心に岡山、熊本などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１７％下回り、単価は１７％上回った。
【果菜類】 きゅうり	宮崎を中心に高知、滋賀、徳島、福岡などからも入荷した。入荷量は前年同月比で７％上回り、単価は１３％下回った。

なす	高知を中心に岡山、京都、福岡からも入荷した。入荷量は前年同月比で５％上回ったが、単価は前年同月並みであった。
とまと	熊本を中心に福岡、滋賀、京都、佐賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で５％下回り、単価は５％上回った。
ピーマン	宮崎を中心に高知、韓国、鹿児島、茨城などからも入荷した。入荷量は前年同月比で９％上回り、単価は１８％下回った。
【土物類】	
ばれいしょ (メイクイン含む)	北海道を中心に長崎、京都からも入荷した。入荷量は前年同月比で２３％上回り、単価は１３％下回った。
たまねぎ	北海道を中心に兵庫、中国、静岡からも入荷した。入荷量は前年同月比で９％下回り、単価は５５％上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
普通みかん	和歌山を中心に福岡、広島、大分、愛媛などからも入荷した。入荷量は前年同月比で３％上回ったが、単価は８％上回った。
富士 (サン富士含む)	青森、長野を中心に岩手、秋田、山形からも入荷した。入荷量は前年同月比で１６％下回り、単価は２８％上回った。
王林	青森を中心に秋田からも入荷した。入荷量は前年同月比で７３％下回り、単価は１２％上回った。
富有柿	福岡、京都、奈良、滋賀、和歌山から入荷した。入荷量は前年同月比で３３％下回り、単価は３９％上回った。
いちご	福岡、熊本、大分、佐賀、長崎などから入荷した。入荷量は前年同月比で８％下回り、単価は１２％上回った。
アールスメロン	高知、静岡、長崎から入荷した。入荷量は前年同月比で３１％下回り、単価は１３％上回った。